

「まほうの宿題プロジェクト」 成果報告

佐賀県 武雄市立西川登小学校
畑瀬真理子

児童の紹介



○小学校1年生 女児

○肢体不自由 特別支援学級 在籍

○手指は細かい動きをすることができる。器用に物を握ったり離したりすることができる。

○気管切開をしているため、**言葉を発することができない。**

○痰が絡まる時は吸入を、脈拍数が高い時には呼吸器をつけて過ごす。

児童の学習面・コミュニケーションについて

入学前

- 療育機関で週3日程度療育を受ける。
- 携帯電話を器用に操作し、ゲーム等を楽しむ。
- 身振りや表情で、要求や意思を伝えたり、あいさつをしたりする。

入学直後

- 絵カードの指さしを加え、コミュニケーションを図る。
- 耳からの情報が入りにくいため、教師からの発信は、身振りや絵カードを併用しながら行う。
- 国語はひらがなの学習を、算数は10までの数を学習。授業では、1年生の教科書を通常よりゆっくりとした進度で学習する。

「学習到達度チェックリスト」(徳永豊:学習到達度チェックリスト・ガイド) を使った児童の実態把握

H27年 6月 実施

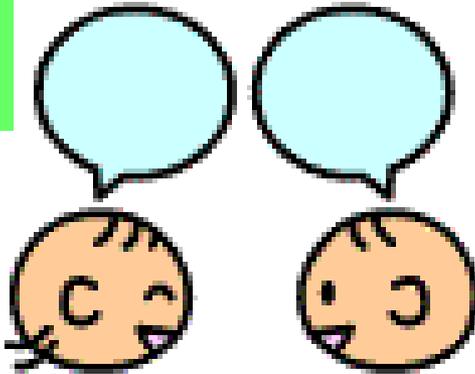
教科	観 点	スコア
国 語	聞くこと	12
	話すこと	18
	読むこと	36
	書くこと	36
算 数	数と計算	60
	量と測定	18
	図 形	36

小学校1年生に該当するスコアは72

児童の目標

自分から発信することで、より意思が伝わるということを実感し、ICT機器を用いることで、あいさつや返事をしたり身近な物や人・場所を示したりして、自分から意欲的に他者へコミュニケーションを図ることができる。

シンボルを使った
コミュニケーション



文字を使った
コミュニケーション

実践前

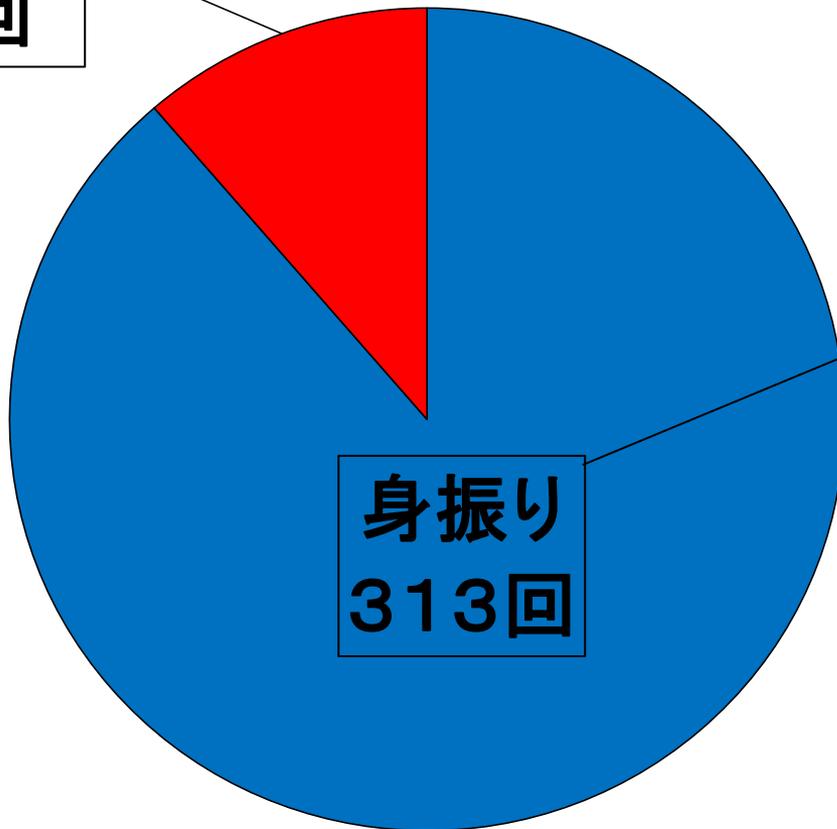
学校内での児童のコミュニケーション(発したコミュニケーションの種類と回数、相手)について計測し、考察を行う。

計測期間:H27年5月11日(月)~14日(木)



計測結果

絵カード
40回



身振り
313回

- ・挨拶...41%
- ・気持ち...41%
- ・次の行動...14%
- ・意思...4%

実践一

シンボルを使ったコミュニケーション

○導入前の段階で「身振り」の種類が多かった「挨拶」について、「ドロップトークHD」を使用して発信し、コミュニケーションを図る。



ドロップトークHD
「あいさつ1」のキャンバス
を設定。

○実施期間：平成27年5月19日(火)～5月22日(金)

実践一

シンボルを使ったコミュニケーション

「自立活動の時間における指導」

ドロップトークHDの「あいさつ1」のキャンバスの選択の仕方やシンボルを押すと音声が出ることを確かめさせる。



自立活動の授業の様子」

「朝の時間、休み時間、帰りの時間」

ドロップトークHDを使って、(おはよう)(こんにちは)(さようなら)(ありがとう)の挨拶をする。



教師へ「おはよう」の挨拶をする児童

実践一

シンボルを使ったコミュニケーション

○「挨拶」のシンボルを増やし、いろいろな挨拶を発信し、コミュニケーションを図る。



ドロップトークHD
「あいさつ2」のキャンバス
を設定。

○実施期間：平成27年5月25日（月）～

実践一

シンボルを使ったコミュニケーション

ドロップトークHDを使用して、「あいさつ」「健康」「給食」「次の活動」などに関して自分の伝えたいことを発信してコミュニケーションを図る。

実施期間

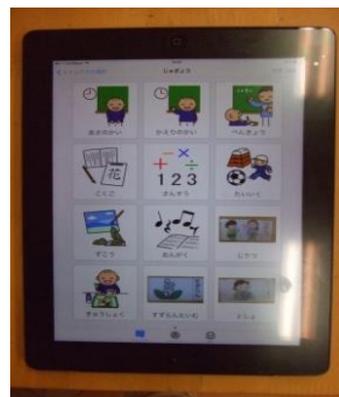
平成27年6月1日(月)～現在



「あいさつ」



「けんこう」



「じゅぎょう」



「ばしょ」



「きゅうしょく」



「いどう」



「やすみじかん」



「きもち」

計測

ドロップトークHD導入前と導入後の児童のコミュニケーション変化をみるために、児童のコミュニケーションについて計測する。

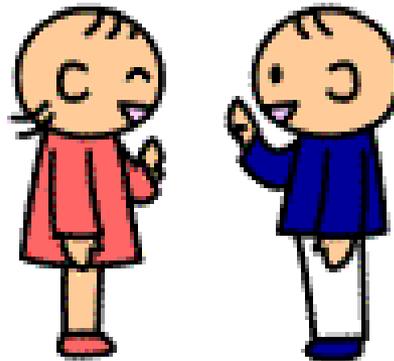
計測期間

平成27年6月15日(月)～18日(木)

時間 登校後～下校まで

回数

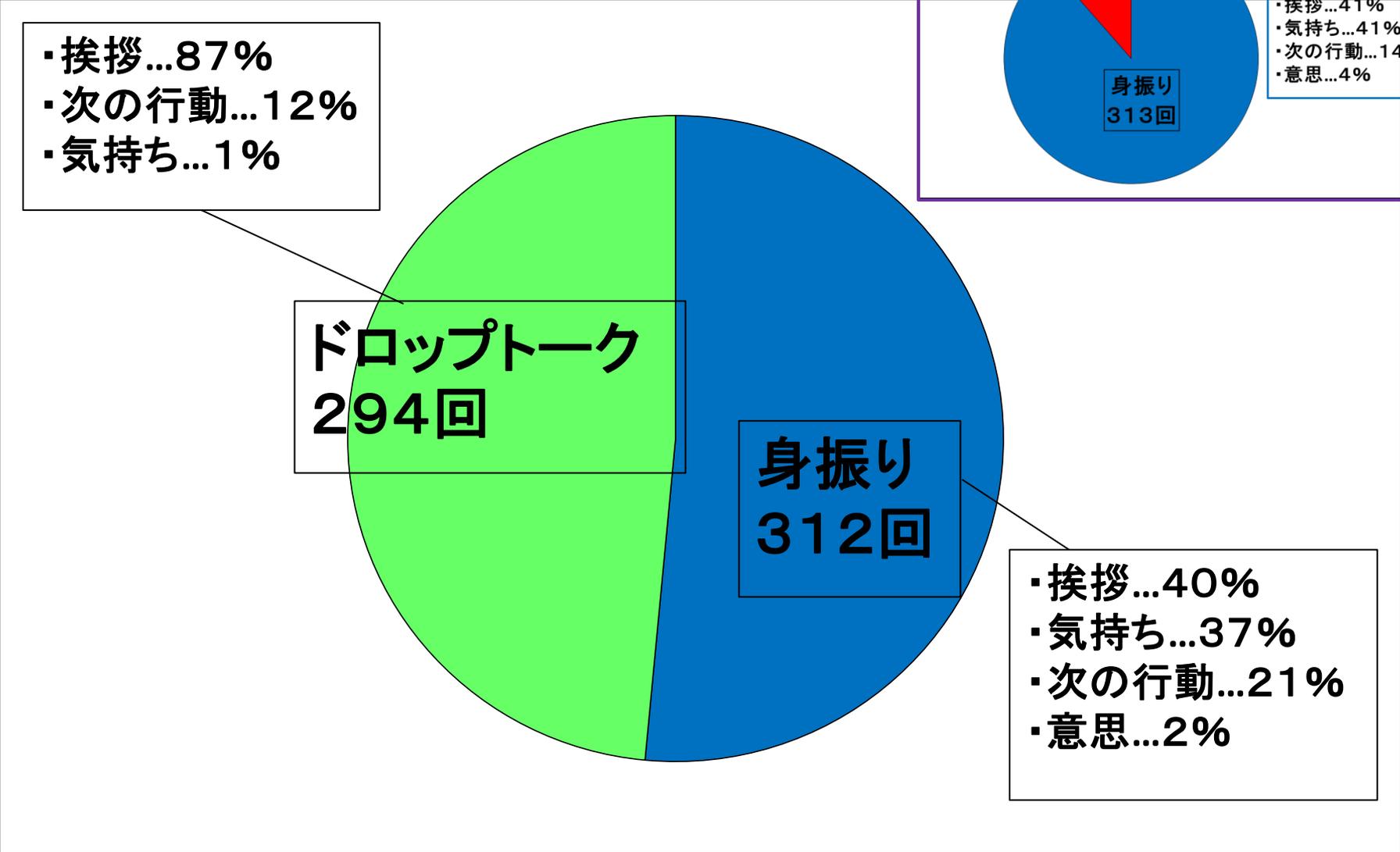
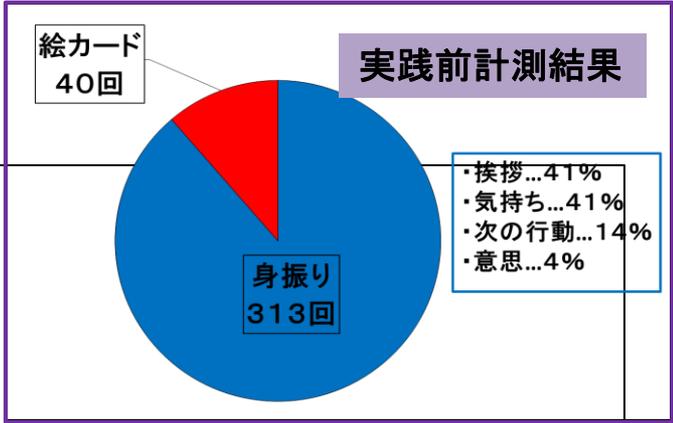
相手



内容

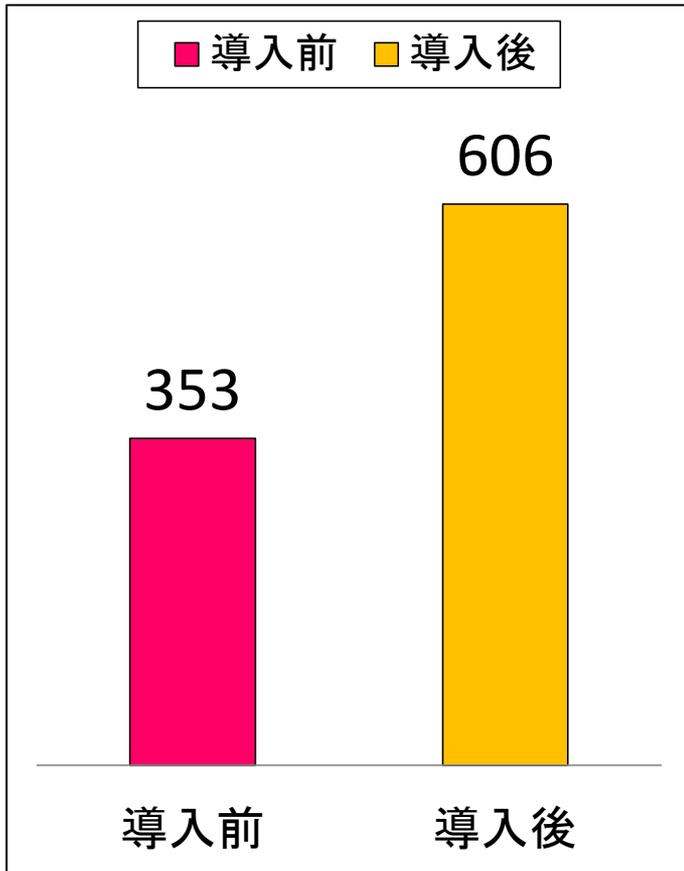
手段

計測結果

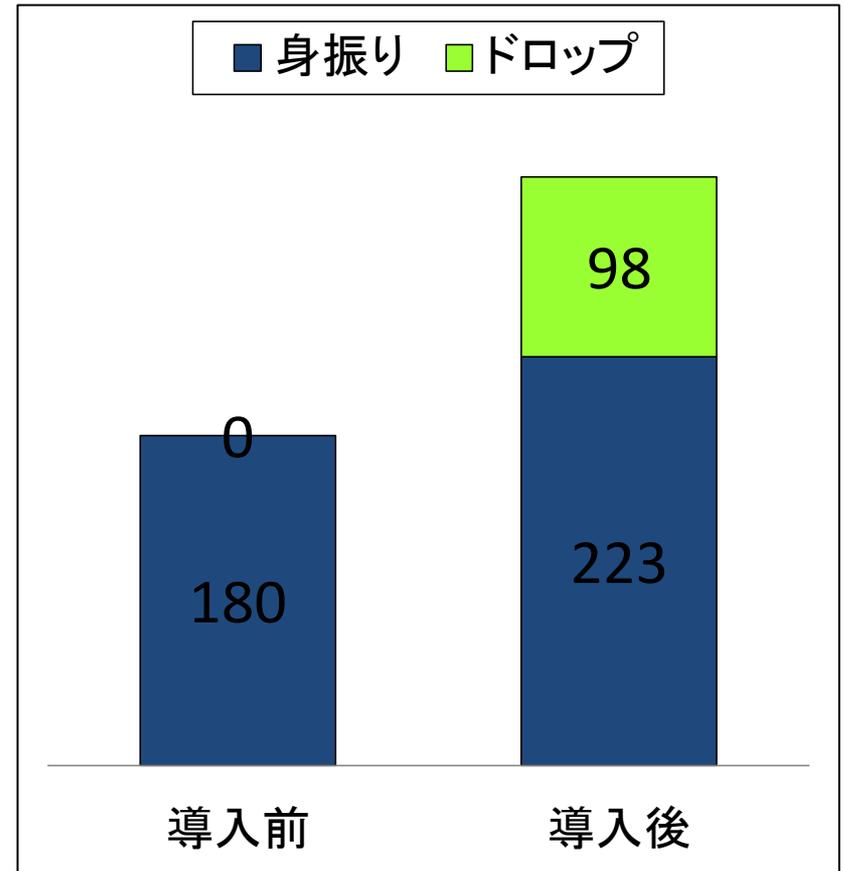


導入前と後の計測結果の比較

コミュニケーションの回数の比較

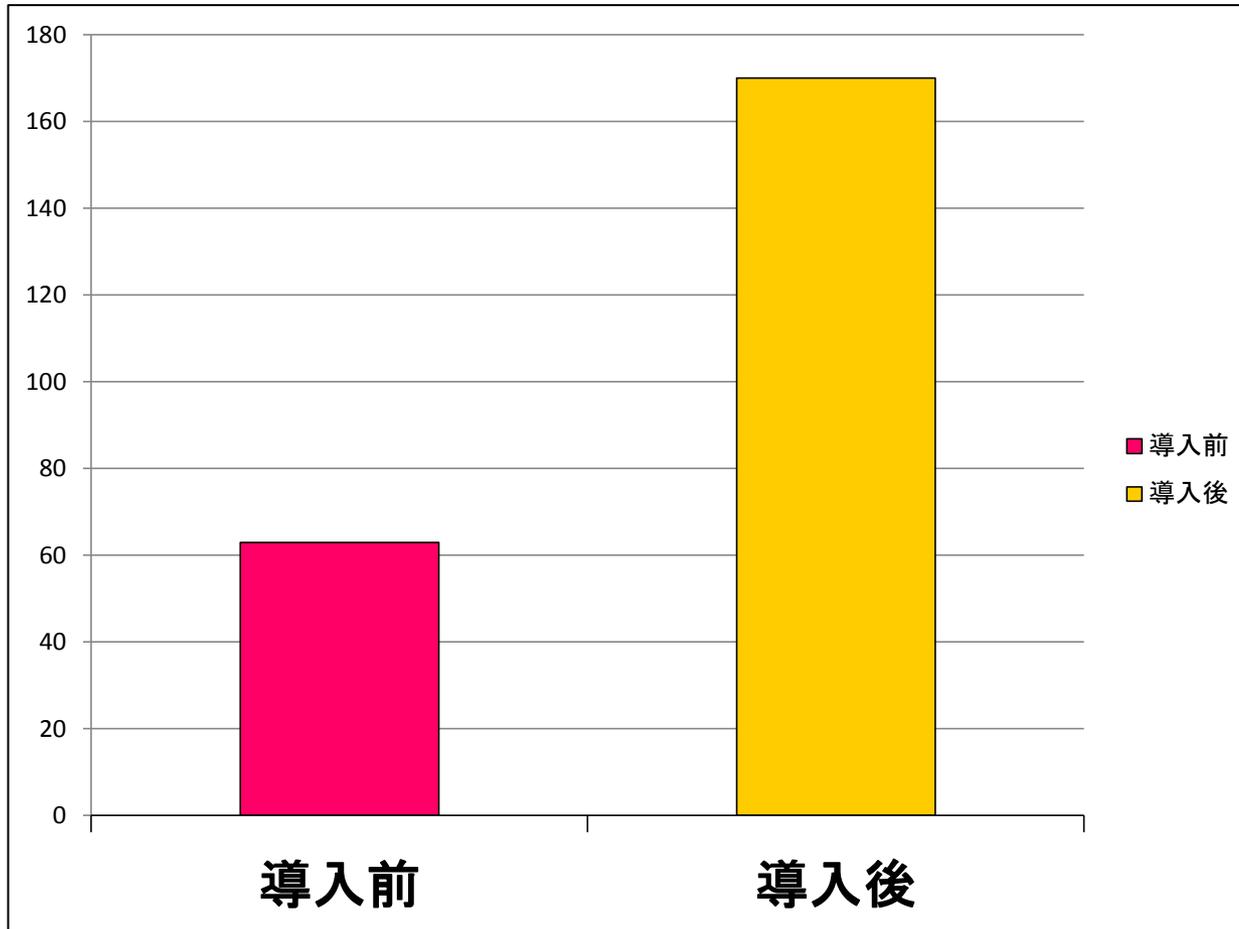


自分から発するコミュニケーションの比較



導入前と後の計測結果の比較

コミュニケーションの相手の数の比較



児童の様子

シンボルを使ったコミュニケーション

朝の会の健康観察



「わたし、げんき」

給食時間



「おいしい」

授業の振り返りで感想を伝える



「がんばり
ました」

友達に遊びたい活動を伝える



「ブロック」



友達とブロックで遊ぶ。

事務室の先生への挨拶

「こんにちは」「さようなら」
「いってきます」



実践一2

文字を使ったコミュニケーション

「国語」の授業で、「トーキングエイド for iPad」のアプリケーションを使用して文字入力しながら、物の名まえなどの語彙について学習する。

実施期間:平成27年5月19日(火)～

絵カード、写真カード、具体物とひらがなを見て、文字入力。



語彙についての学習の様子



教材文の言葉の学習



動きを表す言葉の学習



文作成の学習

実践-2

文字を使ったコミュニケーション

トーキングエイド for iPadで単語や2語をひらがなで文字入力し、自分の伝えたいことを伝える。

実施期間:5月25日(月)～現在

児童の様子

てをあらう。



おちゃをのむ。



こくごをおわります。



他にも…

トイレへいく。

たたみへいく。
(遊びコーナー)

ほこうきであるく。

としょかんへいく。

ほんをよむ。

1の1へいく。

(授業の名前)
をおわります。

(授業の名前)を
はじめます。

おわり。

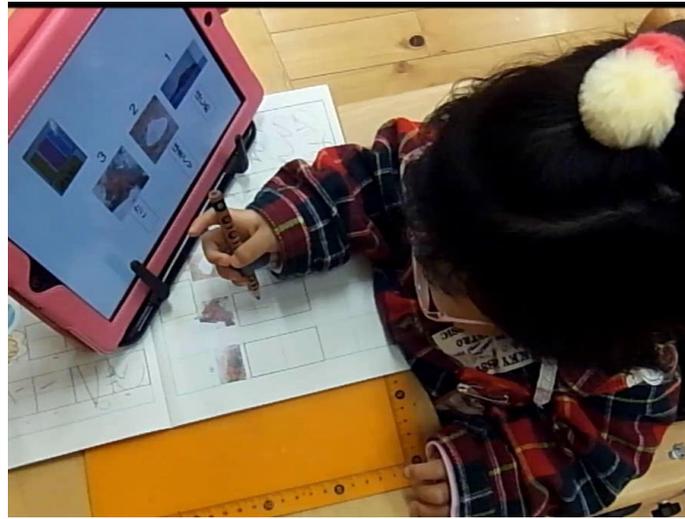
パソコン。

シール。

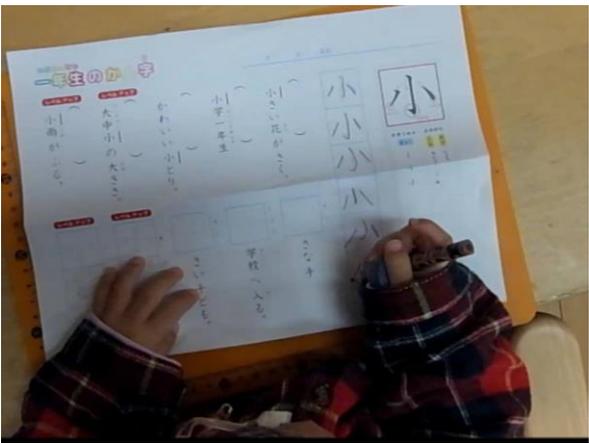
そうじ。



学習の様子



教科書の学習



漢字の学習



ひきざんの学習



大きな数の学習

「学習到達度チェックリスト」(徳永豊:学習到達度チェックリスト・ガイド) を使った評価

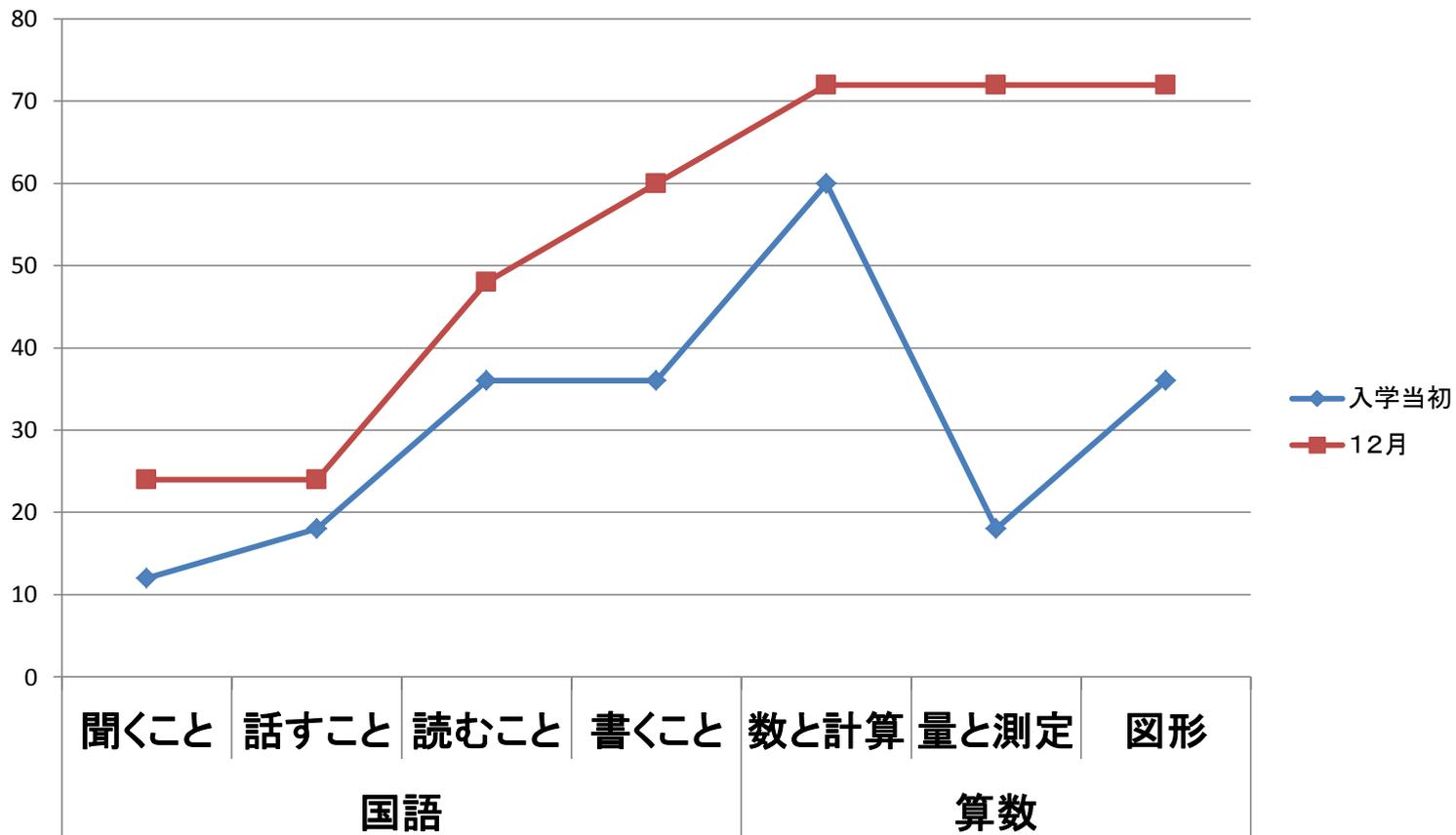
H27年 12月 実施

教科	観点	スコア
国語	聞くこと	24
	話すこと	24
	読むこと	48
	書くこと	60
算数	数と計算	72
	量と測定	72
	図形	72

小学校1年生に該当するスコアは72

児童の変容

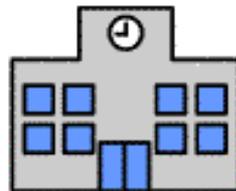
「学習到達度チェックリスト」(徳永豊:学習到達度チェックリスト・ガイド)より



成果と課題

- シンボルを使ったコミュニケーションでは、自分からシンボルを押して挨拶をしたり、伝えたいシンボルを探すために自分でキャンバスやページを変更して相手へ伝えたりして、意欲的にコミュニケーションを図ることができた。
- 文字を使ったコミュニケーションでは、教師が提示した選択肢以外のものを要求したり、活動を途中でやめたい時などの終了を伝えたりする場面が増え、自分の思いに則した発信をすることができた。
- まだ伝える言葉が限られているので、伝えることができる言葉を増やし、いろいろな場面でコミュニケーションを行っていけるようにしていきたい。

つまらない！



たのしい！

参考文献

- ・徳永豊(2014) 障害のある子どもの目標設定ガイド
慶應義塾大学出版会